

～輝きの子育て～

“愛のキャッチボール”をしてみませんか。

いい子に育てたい ——。

だが、このままの子育てでいいのかしら……、
そんな不安に駆られることはありませんか。

私なりに一生懸命がんばってきたのに、
「こんなはずではなかった……」と悩んだことは
ありませんか。

そうした悩みを解消するために、知識、理論ば
かりに頼り過ぎてはいませんか。

「答え」は、毎日の生活の中にあるのです。
あなたの体の中にあるのです。
その「答え」を見つけるために、
“愛のキャッチボール”をしてみませんか。

独り寝

四歳の長男が、ある日突然
「お母さん、ボク今夜から一人で寝る」
といいました。

子どもから、こんな言葉を受けた時、
「一人だと怖いわよ」
そんな言葉で脅していませんか。

「ボク、もう四歳だもん」
「夜中に淋しくなっても知らないわよ」
親のほうで、まだ一緒に寝たいという心があっ
たりすると、
「やっぱり、お母さんと寝る」と子どもがいい
出すまで脅す人がいます。
これではドッチボールです。子どもの心を縮め
るだけです。

「お母さん、ボク今夜から一人で寝る」
そんなことを母親に向かって発言するのは、
子どもの心が大きく成長を始めた時です。
「偉いわね。もう、お兄ちゃんだものね。お母
さんは淋しいけど、がんばろうね」
こんな時が、上手に親離れが出来るチャンスな
のです。

子どもと何気ない会話の一つひとつに、一個の
人格を持った人間として大切に受け止めてあ
げることです。
子どもも親に信頼されていることがわかり、少
しずつ勇気が湧いてくるのです。

一方、育児の本に書いてあるからと、自立心をつ
けるために子どもの心に関係なく親とは別の
部屋に寝かせようとするお母さんがいます。
それが“しつけ”だと考えているのでしょう。
さらに自分の都合のためだけで、別室にしてし
まう場合もあります。

子どもの言葉を成長のチャンスとして受け止
め、プラスで引き抜いてあげると、子どもは、
それだけで生き生きしてきます。

心の中で「本当かしら」と疑っている人は、実
践してみてください。

どんなに素晴らしい知識で育てようとしても、
子どもは、思いもよらない行動、反応をするも
のなのです。
それが豊かな可能性を持っている証しでもあ
るのです。